



浜松市立上阿多古小学校 学校だより 第6号 令和7年10月10日

## 明日を元気に迎えるためには

3年生の国語の教科書に、阪田寛夫さんの「夕日が背中を押してくる」の詩が載っています。この詩を読むと、私は、秋だなあという思いとともに、《さよなら、また明日。明日も元気に学校に来てね。》という気持ちになります。

次の日も元気に学校に来るためには、前日の夜の過ごし方が関係します。そして、当日の朝の過ごし方も同様です。

### 夜をどう過ごすか

- ・夕御飯をおいしく、楽しく
- ・次の日はどんな予定か？
- ・持っていくものは？提出するものは？
- ・入浴してさっぱり 十分な睡眠

夕日が 背中を おしてくる  
まつかな うでで おしてくる  
あるく ぼくらの うしろから  
でつい 声で よびかける  
さよなら さよなら  
さよなら きみたち  
ばんごはんが まつててるぞ  
あしたの朝 寝過ごすな

夕日が 背中を おしてくる  
阪田 寛夫

### 朝はどう過ごすか

- ・早起き 洗顔
- ・朝御飯は一日のエネルギー
- ・歯を磨く。身だしなみを整える。
- ・持ち物を確かめて、「行ってきます！」

皆さん、夜の、そして、朝の過ごし方はどうでしょうか。一日様々な出来事があって、いろいろな気持ちを抱えて家に帰ります。家族と過ごす時間が、次の日を元気に迎える力を蓄える場でありたいものです。

夕日に、太陽に、負けないように。**夕日が背中を押してくる**

次の日には、太陽に元気に挨拶できるように。**あしたの朝 寝過ごすな**

自分の体のために。家の人に迷惑や心配を掛けないように。10月も元気に生活します。

## 家庭学習について アンケートへの回答をありがとうございました

9月号の学校だよりで、長期休業中の家庭学習について、皆さんとともに考えてみたい旨のお話をしました。アンケート回答の御協力をありがとうございました。【結果は次頁参照】

全体的には、子供たちと保護者の考えに大きな開きはありませんでした。しかし、自分の自由時間が欲しい、と思っている子はいます。声には出さないけれど、静かに思っている子はほかにもいるかもしれません。

本校では、長期休業の前に面談の機会があります。この場を使って、お子さんと保護者様と担任とで話し合い、みんなが納得できる家庭学習を進めていくのがよいかと、今回の結果から感じました。担任から「このような内容で考えたがどうか」という案を提示します。それをもとに考えていくとよいのでは、ということです。

多様性の時代です。今後も様々な考えが出てくると思います。決まった正解はなく、その時々で考えて、よりよいと思う方法で進めていくしかありません。「常に見直す」という意識で進めていけたら、と考えています。いつでも御意見をお寄せください。

